



平成 31 年 4 月号 Vol.21  
情報メディア教育センター

### 新入生のみなさん、EMC によろこ。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

EMC (Educational Media Center の略) 情報メディア教育センターです。授業利用のほか、図書館+目的別の各種学習室+タブレットや PC などの端末の貸出もやっています。3 年制と 6 年制の校舎の間にある通路的な建物で、みんなの交流の場にもなっています。そうそう、2 体のペッパー「べる」と「みらい」もいます。話しかけてみてね。

この『EMC news letter』では新着図書を紹介や利用方法、特集展示、EMC 内でのイベント案内などを掲載しています。お勉強にも、バス待ちお迎え待ちの暇つぶしにも、恋やグチや悩みや相談ごと、そして「何読んだらいいのー？」という本のご相談も、ぜひカウンターまで！ お待ちしてまーす。

### 参考に見てね！「私はこんなふうに EMC を使ってます」インタビュー。

在校生に「ねえねえ、EMC に来て何してる？」という質問に答えていただきました。みんなそれぞれに使い方があるみたいですよ。自分なりの使い方、見つけてみてくださいねー。



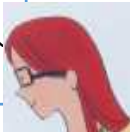
メディアブースで映画みる。菅田将暉とかの新作の见たい作品が入っててびっくり。男子はゲームにも使ってる。課題の時にパワポ使えるのも便利。(高 2・女子)

趣味は読書と言いたい図書館員・藤崎さん(裏面参照)に人生の先輩としていろんな話を聞いてもらえたのがよかった！(卒業生・男子)



ヘッドフォンかき、タブレットで YouTube 見たり聴いたりします。(中 2・女子)

勉強に集中したいなら 3 階！私語禁止なので試験前には入り浸りです。(高 3・女子)



図書館にいる「ベクトルの魔術師」に、放課後、数学を教えてもらいに行きます。(高 2・男子)



カウンターでは自分の探してる本じゃなくても、それに近い本を教えてもらえたりする。便利。(高 1・女子)

赤本は最新版しか本屋には売ってないので、過去の赤本が借りられるのは、受験生にはすごくありがたい。(卒業生・男子)



グループ学習室はみんなでワイワイ使えて便利やけど早めに予約しないと取れない。1 週間前から予約できるよ。(卒業生・女子)

生徒証は必ず持っていこう！じゃないと本が借りれないです。めんどくさいけど 2 回ほど教室に取りに戻ったことがある。(中 3・男子)



毎月かわる新着図書が楽しみ。本屋大賞の本もたくさんある。好きなジャンルの本の話ができる。(高 1・女子)



カウンター内のスタッフさんたちと、うだうだ話するのが日課。いろんなこと喋るとスツとする。(中 2・女子)



### 今月の本棚 Books ourshelves

「こんな本あるんだー」へんてこ本、並んでます。DVD 棚では、まさかまさかのイケ・フェス！

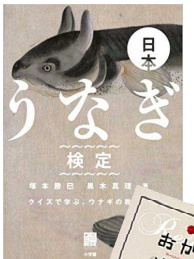
「Books ourshelve 今月の本棚」では、ほぼ月がわりで更新される特集棚のご紹介をしています。

新学期、初手の特集は「なんだ、この本？」。奇抜なタイトル、意表を

つく内容、へんてこな表紙！ビミョーに字も少なくなくて読みやすい！

とにかく「なんじゃこりゃ」と思わず手にとってもらえそうな本ばかりを集めてみました。「へーこんな本あるんやー」

と思ったら、ぜひ見てみてね。



勢ぞろいの「EMC 勝手にイケメン・フェスティバル」を開催中。中島健人、菅田将暉、山田涼介、中川大志、竹内涼真、岩田剛典

…若手で旬な俳優さんが出演している映画がずらりですよー。「菅田将暉くんの出てる『火花』はイマイチやけど『暗殺教室』はいい」やら「(中島)健

人なら『四月は君の嘘』！」やら『坂道のアポロン』の中川大志サイコー！」やら、収集つかないほどみなさんお好み

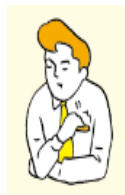
みがあるみたいで、そんな声を反映するべく、おせっかいながら在校生女子による「勝手にイケメン五段階評価表」

も展示しました。メディアブースで映画を見る際のご参考にどうぞ！



趣味は読書と言いたい・藤崎一臣の

本、読んでいこう！Vol.19  
『愛なき世界』 三浦しをん【著】



初めまして、三浦しをん様

2年前のEMC開館準備で宮部みゆきさんの次に、ずっと気になっていた作家さんです。1年半の時を経てようやく読むことができました。

今回ご紹介する本は、2019年本屋大賞にノミネートされている『愛なき世界』。大学院に在籍し、シロイヌナズナという植物の研究に没頭する女性研究者に大学近くの洋食屋で働く男性が恋心を抱く物語。はたして、この男性の恋は実を結ぶのか…。タイトルに答えが載っているみたいなものですね。

おお～そういう理由でフラれるか！という理由です。私には理解しがたい理由ですが…。作中、結構専門用語が出てくるので、読むのにちょっと苦労したのが正直な感想です。

ですが、研究と正反対の世界で生きる私にとって、研究の分野は未知の領域で新鮮な気持ちになりました。

若いっていいな。何かに没頭し情熱を注げるっていいな。自分の好きなことを職業にして飯を喰っていきけるってもっといいな。と改めて感じました。

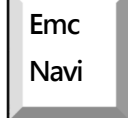
みなさん、将来どんな仕事に就きたいと思いついて描いていますか。私自身、中高生時代は部活動に没頭し、将来のことは何も考えずに過ごしていた身なので偉そうに言える立場ではないですが、進路選択により選択できる職種幅がぐぐっと狭くなるのは確かです。みなさんにとって、“今”が将来について考えるとても大切な時期です。

ちなみに、2019年本屋大賞の大賞発表は4月9日 どの作品が大賞に輝くのか楽しみですね。

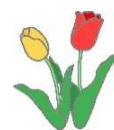


4月の開館予定

4月	
1月	休館
2火	休館
3水	休館
4木	休館
5金	休館
6土	休館
7日	休館
8月	8:10-17:50
9火	8:10-17:50
10水	8:10-17:50
11木	8:10-17:50
12金	8:10-15:30
13土	休館
14日	休館
15月	8:10-17:50
16火	8:10-17:50
17水	8:10-17:50
18木	8:10-17:50
19金	8:10-17:50
20土	休館
21日	休館
22月	8:10-17:50
23火	8:10-17:50
24水	8:10-17:50
25木	8:10-17:50
26金	休館/館内整理
27土	休館
28日	休館
29月	休館
30火	休館



EMCをより上手に利用してみましょう！！



EMCの使い方のコツを知っておくと便利です。

★開館 月曜～金曜 8:10～17:50 <朝の授業前にちょっと寄ってみてもいいですよ。また試験期間中や12、1、2月の受験シーズンは開館時間を延長(～18:50まで)しています。開館予定は、本校HPあるいはカウンターにある利用カレンダーで確認してください。



★貸出について 貸出期間 5冊まで/14日間 貸出には生徒証が必要です。(返却には不要です) <延滞をすると新しく本が借りられなくなるので注意してください。>

★貸出予約、本のリクエスト ・借りたい本が貸出中の場合、貸出予約ができます。 ・本の購入リクエストも受付けています。選書審査を経て、リクエスト後1か月程度で配架します。

★新着本と本の特集コーナー 新着本は月替わりにカウンター前のタワー型書架に並んでいます。また2階のメイン展示コーナー(平机)に季節や行事などでテーマを決め、図書を並べています。その他、書架の所々にも小さな特集を(3階にもあるよ)組んでますから、みてね！

★図書の検索 館内に検索用PCが設置されているほか、本校HPからも蔵書検索を利用できます。 右記QRコードからも蔵書検索できます。→



★パソコン・タブレットの貸出・利用 →カウンターで申し込みをしてください ・メディアブース/PC6台、ノートPC10台、タブレット30台、 カウンター横にPC2台

メディアブースでは映画や名作のDVD(館外貸出は不可)などの視聴やインターネットも利用できます。ソフトはWord、Excel、パワーポイントが入っているので、授業の課題などに使えます。USBを持参すれば保存可能です。ノートPC・タブレットの貸出は予約不可で、着順です。

★ライブラリーエリアの使い方 2階はおしゃべりOKです。友達と気軽に雑誌を読んだり、一緒に勉強するもよし。3階は会話禁止です。集中して勉強できますよ。受験や資格試験に役立つ、赤本や英検などの問題集も揃っています。

★グループスタディールームの利用について →カウンターで申し込みをしてください 5つの部屋があり、いずれも予約制です。試験前と期間中は混み合うので早めの予約をおすすめしています。予約時間の30分を過ぎるとキャンセル扱いになることもあります。電子黒板でDVDやYouTubeをみんなで見ることできますよ。

★コピー機(2階) コピーは1枚10円で利用できます。白黒で、両面コピーも可能です。パソコンからも印刷できるので、カウンターへたずねてください

★図書館からのお知らせ ●貴重品の管理を徹底してください。財布やスマホなど。 席を離れるときはそのまま置いておかないように！

編集後記 お花見しましたか？ 桜の句で思い出すのは親鸞の「明日ありと思う心のあだ桜 夜半に嵐の吹かぬものは」。一日一日を大事に過ごそうね。(内田)

進級おめでとう！



第17回 戸田先生おすすめの『黒部の山賊』

戦後間もない北アルプスの山小屋で繰り広げられる大自然と人との対峙が生々しい体験談をもとに山の霊威にも触れながら書かれている。山賊と呼ばれて恐れられていた男たち、実は山を愛し、山の美しさや恐ろしさを誰よりも知っている人たちだった。山や登山に興味がなくともぜひ手に取ってほしい一冊です。「カベツケが原」へ行ってみたい。

\*現在は山と溪谷社より 定本『黒部の山賊』が出版されている。 EMC2階にあります。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンほどなたに渡るかな？